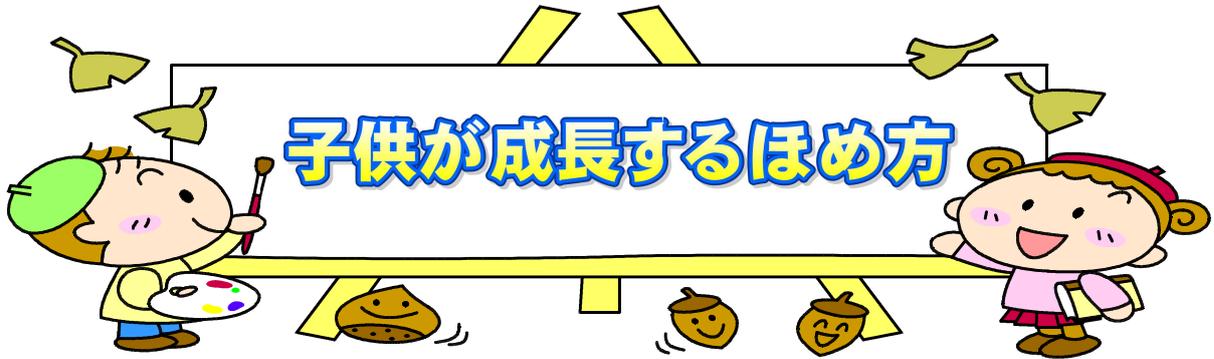




おひさま

八代市教育サポートセンター
子ども支援相談室便り
令和4年 11月号
文責 江藤紀子



昔から「子供はほめて伸ばす」と言われています。
しかし、ほめることには、気を付けなければならない点があります。
今回は、子供のほめかたについて考えていきたいと思います。



次郎君を頑張らせたいという親心で、「一郎兄ちゃんは、もう宿題終わったよ。いつも早いね。」「花子姉ちゃんは、字がきれいだね。お姉ちゃんみたいな字を書かなんね。」と、きょうだいを比較するようなほめ方をしてしまうことがあります。

子供は、一人一人持っている能力や得意・不得意が違います。人との比較ではなく、一人一人の成長に目を向けたほめ方をしましょう。

次郎君を頑張らせたいならば、「昨日より宿題が早く終わったね。」「しっかりした字を書くようになってきたね。」と本人の成長をほめる方法があります。

「今年も1位、すごいね」「また百点。天才だね。」など、結果はほめる材料になりますが、その結果を生んだ努力の方に目を向けてほめることが大切です。結果が出せない時もありますが、努力をしていたことをちゃんと見てくれていたことを知れば、しっかり努力を続ける子供が育ちます。



※裏面に「子供が成長するほめ方」のポイントを載せています。

参考文献 「魔法のほめかた叱り方」 島谷 華子 著

☀️ 子供が成長するほめかたのポイント ☀️



1 「行動」に注目する

子供が、靴をそろえています。具体的にその行動をほめると、その行動のよさや気持ちよさを確認でき、次の行動を後押しします。

「いい子ね」 → 「いいことをしたね。靴がそろうと気持ちがいいよ。」

2 努力(プロセス)に注目する

大人が理想とする結果を求め、その水準に達した時にほめてしまいがちです。努力の過程に目を向ければ、努力を惜しまない子供が育ちます。

「100点！偉いね」 → 「よく勉強してたもんね。」

3 その子自身の成長をほめる

人と比較して喜ぶのではなく、その子自身の成長に気付いてほめます。

「花子よりピアノがうまい」 → 「なめらかに弾けるようになったね。」

4 親の気持ちを伝える

「お手伝いして、偉い」 → 「お手伝いしてくれて、すごく助かった。」

5 なるべく「できたこと」を具体的にほめる

「絵がうまい」 → 「足が力強くて、本当に走っているみたいな絵ね。」

悩み相談(不登校など)

「やつしろ子ども支援相談室」は、大人も子供も相談ができます。
不安な気持ちになったときは一人で悩まず、相談してください。

●相談方法

- 電話 0965-33-6145 (相談室直通)
- メール kodomo-sien@yatsushiro.jp
- 面談 やつしろ子ども支援相談室 (八代市役所4階)

●相談時間 月～金曜日 午前9時～午後2時

※相談無料 匿名でも相談できます

右のQRコードを読み取って相談してください。

※すぐにメールの返信ができないときがあります。

